

平成22年7月



# トミー協働つうしん

発行：南房総市 富山協働推進室 (TEL 0470-57-3799)  
 企画編集：地域づくり支援員富山担当 (FAX 0470-57-3002)  
 〒299-2292 南房総市久枝257番地(南房総市富山支所内)  
 メール・アドレス：tomyamachiikidukuri@sunny.ocn.ne.jp

第1号

地域づくりを考える会への  
参加をお待ちしています

あなたのアイデアを  
地域づくりに役立てる  
チャンスだワン!!



八房と伏姫

「地域づくり」についてはいろいろなボランティア団体等が、それぞれ活動していますが、活動している人たちの自己満足にならないよう地域の方の協力をいただき、ふるさとをよくするために、多くの人がみんなで活動したらいといつも思っています。また、公民館活動に参加している人の八割の方が都会から越してきた人ですので、富山の人にもっと地域のことを考えて、いろいろな活動に参加してほしいと思います。

私の考える地域づくり  
二部在住 永井玉江さん

皆さんは、日頃、自分の地域のことにについて、「こうしたらもっと良くなる」「こんな活動をしたらもっと地域が活性化する」などと考えたことはありますか。誰でも一度は、そんなことを考えたことがあると思います。私たち富山地区には素晴らしい自然環境や文化財など、他に誇れるものがたくさんあります。それらを保護し活用することによって、より地域のきずなを深めたり、地域のにぎわいを取り戻すことができたら、どんなに素晴らしいことです。住んでよかったです。住み続けたい富山を目指して、一緒に「地域づくり」を進めましょう。

住んでよかったです、住み続けたい  
富山を目指して、一緒に地域づくりを

富山地域づくりを考える会  
◆ 参加者募集中 ◆

協働でつくる「地域づくり」は、  
市民相互として市がお互いに協力  
し合つて住みよいまちをつくること  
が大きな目的です。皆さんの中恵  
を出し合い、想いや夢などを語り  
合う、「地域づくりを考える会」に  
ぜひ参加してください。

里山の会 会員数10名：伊予ヶ岳、ふじやま周辺の下草刈りなどの環境整備ほか、平久里中の遊休地に桜・花桃の苗の植栽などの幅広い活動を行っています。



## わがふるさと富山 ①

**富山** (ふるさと富山を参考)

富山(とみさん)の名前は、古代神話に登場する天富命(あめのとみのみこと)の逝去の地が富山であるともいわれ、(富山)とは、古い歴史が因になつて名付けられた由緒ある山と言えます。元の山名は「天富山」(あまのとみやま)でしたが、いつの頃か「富山」(とみさん)と呼ばれるようになります。これは、地元の人々が、この山に特別の想いを持っていたので、「やま」ではなく「さん」で呼ぶようになったといわれています。

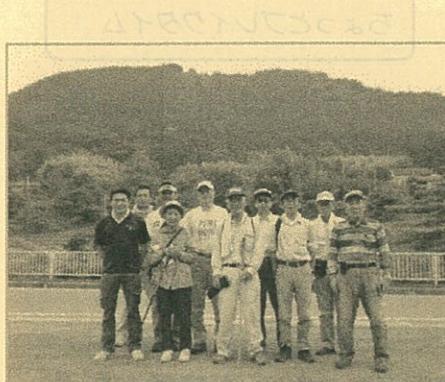


整いました！富山の地域づくりとかけまして富山(とみさん)と解く、その心は、二つの峰(地区)が助け合ってきれいな山並みをつくります。この五月から富山地区地域づくり支援員になりました川上三橋です。これから皆さん地域にたびたびお邪魔します。協働推進室の高梨・高橋とも4人で、いろいろな地域のよいところを一緒になつて伸ばし、問題についているところを解決に向けてお手伝いしていきます。よろしくお願ひいたします。

K・M 地域づくり支援員

トミー協働つうしん

現在、産業・福祉・ボランティア・公民館活動にいろいろな団体は、それぞれの目的をもつていろいろな活動をしています。ここでこれら団体の活動をご紹介します。



岩槻内人の会 会員数28名：観光協会の依頼を受けて富山等を訪れる方に対してボランティアガイド、登山道の整備、竹杖の作成などをを行っています。



ふれあいランチサービスボランティア富山 会員数56名：見守りを兼ねたスタッフによるランチサービスは、毎回、楽しみにしているお年寄りも多い。

トミー協働つうしんでは、創刊にあたり、次号から皆さんに楽しんで未長く読んでいただきこのと、地域のいろいろな情報をお宝が眠っている。こんな特産品がある。ボランティア活動をしたメンバーを探している：しなど、ふるつて応募してください。

ご存じですか、こんな活動

富山のいろいろな情報を募集



「地域づくりを考える会」では？  
みんなで話し合い、みんなでできることから始めましょう。

- 詳しく述べ「地域づくりを考える会」会員募集チラシをご覧ください。
- ◎富山の良さを見つけて、生かすことを考えましょう！
- ◎富山をもっと元気にすることを考えましょう！
- ◎子供たちや高齢者の安心・安全にすごせる地域づくりを考えてみましょう！
- ◎地域の問題をみんなで話し合い、解決していきましょう！

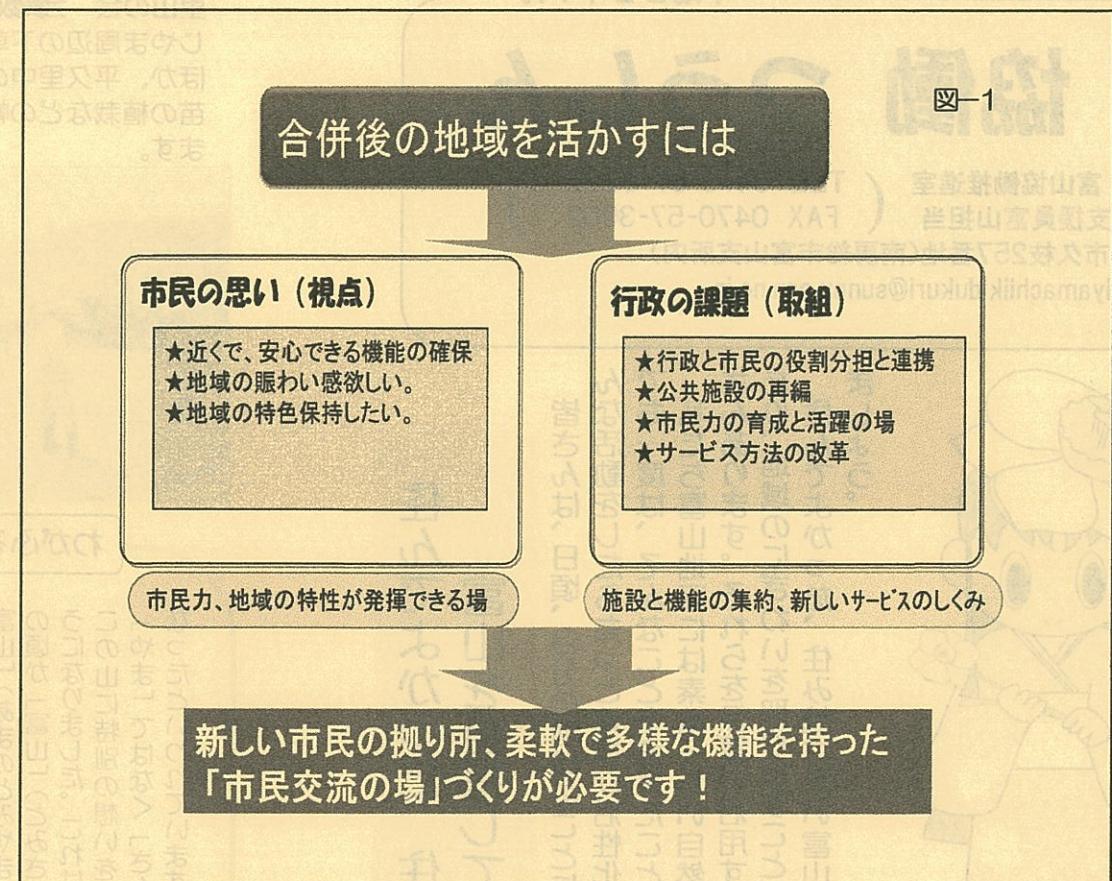
※第1回目の「地域づくりを考える会」は8月27日

# 市民が主役でより元気な富山をつくりましょう

トミー協働つうしん

合併後に市民からは、「支所機能縮小により支所や公民館等がなくなってしまう」「行政サービスの効率化・均一化的面で市役所組織が大きくなってしまったことにより役所が遠くなつた」など、地域の疲弊感に対する意見が多く寄せられ、行政サービスに隙間が生じたり、縦割りによる機構など、いろいろな課題が生じました。また、少子高齢化の進展や五年後には普通交付税が減額されますので、今のうちに市民と行政で協議し、地域の元気や活気を取り戻すことが急がれます。

図-1



富山地区の将来人口の推移

表-1

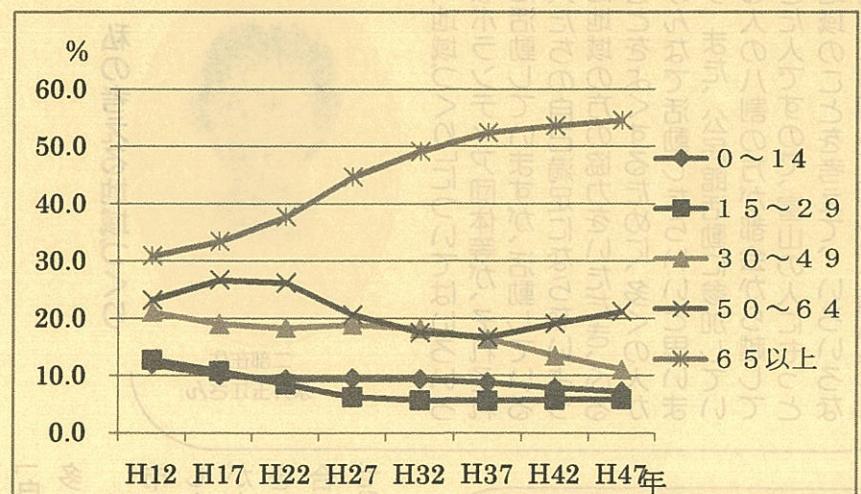
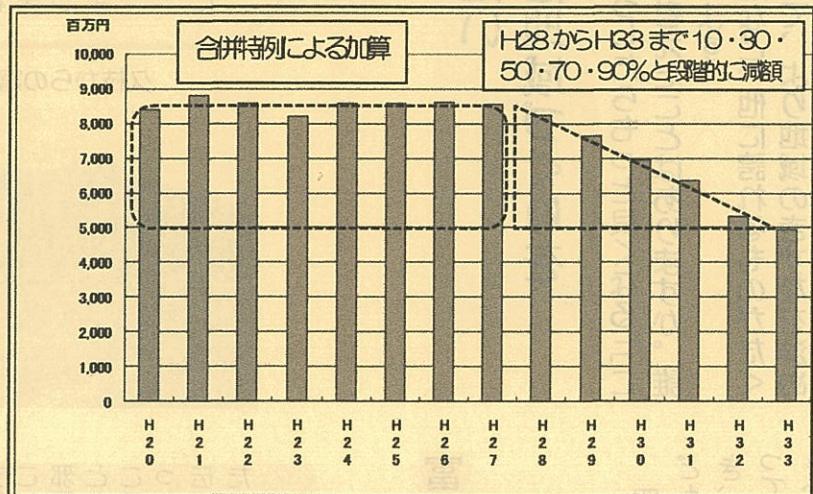


表-1は、富山地区の5年ごとの将来人口の推移を表していますが、15歳から64歳までの生産人口が年を追うごとに少しずつ減少していくとともに、平成32年には65歳以上が50%弱になり、もうすぐ限界集落（人口の50%以上が65歳以上の高齢者になり、社会的共同生活の維持が困難になった集落）に入る危機的なところまでけています。

普通交付税と将来職員数の推移

表-2



## —地域づくり協議会Q&A—

そこで合併後の地域を活かすには、新たな市民のより所になる、柔軟で多様な機能を持つ「市民交流の場」づくりが必要と考えました。そのため、富山の皆さんには、地域の課題について自らが積極的に取り組む意識をもって、身近なところから地域づくりを進めていきましょう。

花子Q・誰でも協議会に参加できるの  
太郎A・富山地区にお住まいの方なら老若男女どなたでも参加できます。まず、「富山の地域づくりを考える会」に参加してください。

花子Q・どうして今、協議会を立ち上げないといけないの  
太郎A・ひとつの目標に向かって、紙に書いた多くの人たちの知恵や想いを一つずつ進行役（ファシリテーター）が取り上げ、意見をまとめていく手法です。

花子A・将来、少子高齢化に伴い市人口の減少により税収減少や市役所のスリム化（事業の見直し、職員の削減等）が余儀なくされ、行政サービスの低下が予想されます。それとともに、全国的に協働のまちづくりへの参加意向は高くなっています。これから「地域づくり協議会」設立が必要になつてきています。